

〈教育目標〉  
変化する社会を生き抜く生徒の育成  
〈生徒会スローガン〉  
異彩同光  
～一人一人の個性を四中の輝きに～

# 燦たり

学校だより  
第4号  
R8.6.19(金)  
文責  
矢鉾 清一郎

**学** 学力の向上に向けて 体育大会を終え、次は学力の向上に向けた取り組みを行っています。

学力充実に関して、本校の取組の中で大事にしているものがあります。それが「家庭学習の質と量の向上」です。学力調査時のアンケート調査の結果から、家庭での学習時間が県平均を大きく下回っていることをとても危惧しています。家庭で学習時間が確保できない原因として、スマホ使用を含めたメディア視聴時間が多いことが最大の原因と考えていますが、学校での理解が不十分だった際、家で一人でやることは困難だと思いを抱いていることが根本原因だと思います。

そこで本校では、家庭学習を充実させるために、「自学タイム」と「授業の改善」を中心に取り組んでいます。

自学タイムとは、帰りの会の前にもみんなで一斉に「燦たりシート」をもとに自学をする時間のことです。学校で今日帰ってから取り組むことを決め、あらかじめ行っておくことで家庭での学習につなげることを狙っています。先日行われた定期テストの前には、他クラスと合同で自学タイムを行うなど工夫をしている姿が見られました。ぜひ家庭でも自学の様子を確認していただき「がんばってるね」とほめてもらえると効果は倍増すると思います。ご協力のほどよろしくお願いします。

次に授業の改善です。荒尾市では「あらおベーシック」という共通学習スタイルの定着に向け、取り組んでいます。本校でも「あらおベーシック」の授業をとおして、生徒が主体となって学ぶ授業となるよう日々実践を重ねています。学習リーダーが問いかけや話し合いの司会者となり授業を進めています。『与えられた知識』より『自ら獲得した知識』の方が身につくことは広く知られています。少しでも生徒から獲得する知識が増えるよう各教科の担当も様々な工夫を凝らしています。授業参観ウィークにぜひ見に来ていただくと幸いです。

これら2つの重点取組を機能させるためには、授業を受ける学級がどれだけ支持的風土があるかが重要であると考えています。『支持的風土』について、学校で共通理解していることは、「誰に対しても気兼

ねなく、自分の思いを伝えられること」という点です。そのために各学級では「1分間スピーチ」や「スピーチに対するお返し」を行ったり、道徳の授業を充実させたりしています。

日々の少しずつの取組ですが、学力の向上のためにとっても大切な土台である心の成長のために1年間精いっぱい取り組んでいきます。

**総** 生徒総会について 6月5日には、生徒総会がありました。令和8年度に生徒会と各委員会が取り組むことについて、発表し、いくつかの質疑応答を受け、満場一致で可決されました。この総会に向けて生徒会役員や各委員会の委員長と副委員長はたくさんの準備を重ね会に臨んでいました。その姿はリーダーとしてたくましく思いました。荒尾第四中学生の一人一人が輝ける取組となるよう精一杯取り組んでほしいと思います。



**危** 交通安全について 登下校を中心に交通事故が頻発していることを危惧しています。臨時で全校集会も行いましたが、その後も事故が見られます。幸い命に係わる事案は起きていませんが、どれも肝を冷やす事故ばかりでした。原因としては自転車に乗っている生徒の交通法規の理解が乏しいことがあげられます。例えば、『自転車がやむなく歩道を走行する場合、歩道をどのように走行するのか』という問いに対して、『車道側を徐行する』と答えられる生徒は若干名であるという現状です。また、「自転車は歩行者と同じだ」という思いの生徒も多いようです。自転車は車両です。歩行者と同じであるという思いで運転をしていると自らの命の危惧を生むばかりでなく歩行者を傷つけることにもつながります。家庭でも正しい知識を教えていただけると幸いです。かけがえのない命を守るためお願いいたします。